



市長の
いけだ *Diary*

池田市長 瀧澤 智子

暖かく過ごしやすい日が続いていると思ったら、突然の大雪に見舞われたり、また春を思わせるような暖かい日が訪れたり、三寒四温の気候が感じられる季節となりました。皆さんお変わりなくお過ごしでしょうか。

先日「フードスタディ」という、食をテーマに文化・社会・歴史・経済・環境・健康・政治などさまざまな角度から総合的に研究する学問を聴講する機会に恵まれました。この日の講義の題材は「飢餓と肥満」でEU、アメリカ、アフリカ、日本の食文化の特徴や課題について学びました。EUは伝統、地域性、職人性を重視し、料理は芸術や文化だと考えられているようです。一方、アメリカは効率性、利便性、多様性を重視し、食べ物は実用的でスピードを重視するものと考え人が多いようです。またアフリカは一部の地域で慢性的な食糧不足が起こっているようですが、これは土壌だけの問題ではないそうです。地域によっては肥沃(ひよく)な土地も存在し、持続可能な農法を追求することも可能になるのではないかと感じました。

では、私たちが暮らす日本はどうでしょうか。日本は健康志向で料理の美しい見た目にもこだわり、季節感を大切にしている文化があります。しかし、近年では安価なものや利便性を重視する傾向が加速して

いる面もあります。日本の食料自給率は30%台であり食料の大部分を輸入に頼っています。ウクライナ紛争を契機に物価高騰が続いているように、世界情勢の影響を受けてしまうことは日本の脆弱(ぜいじゃく)さを露呈(ろせい)しています。

私は学生時代に老人ホームと病院でボランティアをしたことがあります。施設利用者の方に食事の介助をする際「生きることは食べること」と教えられました。食事は単に空腹を満たすものではなく、季節を感じることやコミュニケーションを図る大切な時間、ということです。体と心の健康をつくっているのは日々の食事。忙しい毎日ですが、目の前の食べ物の生産や流通に思いをはせ、個人レベルで食について考え実践するとともに、世界の食の現状や課題にも目を向けたいと思いました。環境・社会・経済のバランスを考察し、持続可能な農業についても考えていきたいです。

本市には子ども食堂に代表されるように、さまざまな形で食育を考えてくださっている方がおられます。これは地域の大きな財産であると感じており日々のご尽力に感謝いたします。



▲細河地域の農福連携事業を視察いただいたときの様子

目次

- 2～5 高齢者の総合相談窓口 地域包括支援センター
- 7～9 IKEDA TOPICS
いけだ環境交流会／イケダ万博を開催／不要なおむつの寄付のお願い／地域分権活動発表会／Get together2026／防災イベント(心肺蘇生訓練、着衣水泳体験)／狂犬病予防集合注射の実施／スポーツ教室受講者を募集
- 10～16 イベントガイド
- 17 Pick up 図書館
- 18～21 子ども向け イベントガイド
- 22 市民文化会館の催し
- 23 暮らしの窓口／健康相談Q and A
- 24～36 お知らせ information
24～26 ▶ 募集、26～28 ▶ 税金・保険年金、28～29 ▶ 福祉・高齢者、30～32 ▶ 子育て・健康、32～33 ▶ 環境・安全、33～36 ▶ その他
- 37 ときの輝き
- 38 伝言板
- 39 Photoニュース

● 今月の表紙 ●



高齢者が自分らしい生活を安心して続けられるようにサポートする地域包括職員の方々を表紙にしました。

今号では、高齢者の悩みを相談できる場所である地域包括支援センターについて紹介します。

広報 いけだ

2026. 3



池田市ホームページ
<https://www.city.ikeda.osaka.jp/>